

第 21 期決算公告

2023 年 3 月 29 日
東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号
日本マクドナルド株式会社
代表取締役 日色 保

貸 借 対 照 表

(2022年12月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	65,423	流 動 負 債	101,699
現 金 及 び 預 金	33,165	買 掛 金	1,672
売 掛 金	19,997	関係会社短期借入金	35,313
1年内回収予定の長期繰延営業債権	693	リ ー ス 債 務	218
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,428	未 払 金	32,676
前 払 費 用	1,421	関係会社未払金	4,916
関係会社未収入金	6,573	設 備 関 係 未 払 金	7,184
そ の 他	2,154	未 払 費 用	6,228
貸 倒 引 当 金	△11	未 払 法 人 税 等	5,139
固 定 資 産	108,935	未 払 消 費 税 等	780
有 形 固 定 資 産	88,082	契 約 負 債	5,216
建 物	57,527	賞 与 引 当 金	2,241
構 築 物	9,669	棚卸資産処分損失引当金	8
機 械 及 び 装 置	12,447	そ の 他	102
工具、器具及び備品	7,653	固 定 負 債	5,011
リ ー ス 資 産	385	リ ー ス 債 務	262
建 設 仮 勘 定	398	賞 与 引 当 金	254
無 形 固 定 資 産	567	退 職 給 付 引 当 金	1,438
の れ ん	567	役員退職慰労引当金	107
投 資 そ の 他 の 資 産	20,285	資 産 除 去 債 務	2,948
長期繰延営業債権	11,632	負 債 合 計	106,711
繰 延 税 金 資 産	8,560	(純 資 産 の 部)	
そ の 他	793	株 主 資 本	67,647
貸 倒 引 当 金	△701	資 本 金	100
		資 本 剰 余 金	619
		資 本 準 備 金	219
		そ の 他 資 本 剰 余 金	400
		利 益 剰 余 金	66,928
		そ の 他 利 益 剰 余 金	66,928
		繰 越 利 益 剰 余 金	66,928
		純 資 産 合 計	67,647
資 産 合 計	174,358	負 債 ・ 純 資 産 合 計	174,358

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

損 益 計 算 書

〔2022年1月1日から〕
〔2022年12月31日まで〕

(単位：百万円)

科 目	金	額
売上高	237,757	352,301
直営店売上高 フランチャイズ収入	114,544	
売上原価	219,247	288,744
直営店売上原価 フランチャイズ収入原価	69,497	
売上総利益		63,557
販売費及び一般管理費		29,105
営業利益		34,451
営業外収益		1,066
受取利息	69	
業務受託収入	569	
受取補償金	56	
貸倒引当金戻入額	0	
受取保険金	86	
その他の	284	
営業外費用		
支払利息	173	
店舗用固定資産除却損	1,567	
その他の	25	1,765
経常利益		33,752
特別損失		1,608
固定資産除却損	735	
減損損失	872	
税引前当期純利益		32,143
法人税、住民税及び事業税	10,881	11,215
法人税等調整額	333	
当期純利益		20,928

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

株主資本等変動計算書

〔2022年1月1日から〕
〔2022年12月31日まで〕

(単位：百万円)

	株 主 資 本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本計 合 計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当 期 首 残 高	100	219	400	619	53,506	53,506	54,226
会計方針の変更による 累積的影響額					△2,307	△2,307	△2,307
会計方針の変更を反映した 当 期 首 残 高	100	219	400	619	51,199	51,199	51,919
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当					△5,200	△5,200	△5,200
当 期 純 利 益					20,928	20,928	20,928
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	15,728	15,728	15,728
当 期 末 残 高	100	219	400	619	66,928	66,928	67,647

	純 資 産 合 計
当 期 首 残 高	54,226
会計方針の変更による 累積的影響額	△2,307
会計方針の変更を反映した 当 期 首 残 高	51,919
当 期 変 動 額	
剰 余 金 の 配 当	△5,200
当 期 純 利 益	20,928
当 期 変 動 額 合 計	15,728
当 期 末 残 高	67,647

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

【個別注記表】

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

- ・ 原材料及び貯蔵品 総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ. 有形固定資産 定額法

（リース資産を除く）

ロ. 無形固定資産 定額法

（リース資産を除く）

ハ. リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

イ. 貸倒引当金 金銭債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ロ. 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。また、一部の社員を対象に株価連動型賞与を導入しており、賞与の支給額は当社の親会社の株価に連動して算定されるため、付与日から支給日までの間の各決算日時点における公正価値をオプション評価モデル（ブラックショールズモデル）を用いて算定し、権利確定期間の経過割合を乗じた金額を引当金として計上しております。なお、市場条件以外の業績条件は反映しておりません。

- | | |
|---------------|---|
| ハ．退職給付引当金 | 従業員への退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（６年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理することとしております。 |
| ニ．役員退職慰労引当金 | 役員への退職慰労金の支出に備えて、役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。 |
| ホ．棚卸資産処分損失引当金 | サプライヤーからの買取り予定の棚卸資産の処分により、今後発生すると見込まれる損失について、合理的に見積もられる金額を計上しております。 |

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

（ハンバーガーレストラン事業に係る収益認識）

店舗運営において、販売取引はお客様からの注文に基づき日々発生しますが、これには店頭で注文を受ける販売取引、モバイルオーダーで注文を受ける販売取引、自社及び外部委託業者を利用したデリバリーサービスによる販売取引があり、モバイルオーダー及びデリバリーサービスは、お客様からの受注データがオーダー受領サーバーを経由してPOSシステムに転送され、販売取引データに変換されます。

- | | |
|-------------|---|
| イ．直営店舗売上高 | 直営店舗売上高は、お客様に商品を提供した時点で履行義務が充足されることから、当該時点をもって収益を認識しております。なお、直営店舗売上高は、直営店舗における販売取引がPOSシステムに記録され、販売管理システムを経由して会計システムに自動転送されることにより計上されます。 |
| ロ．フランチャイズ収入 | フランチャイズ契約書に基づきフランチャイズ法人から受領するロイヤルティー収入については、フランチャイズ法人に対するライセンス供与の約 |

束であることから、フランチャイズ法人の売上高に基づいて算定し、当該売上高が生じる時に収益を認識しております。なお、フランチャイズ収入は、フランチャイズ店舗における販売取引がPOSシステムに記録され、販売管理システムを経由して会計システムに自動転送され、記録された販売取引データとフランチャイズ契約書に規定された料率に基づき自動計算され、会計システムに計上されます。

フランチャイズ契約書に基づきフランチャイズ法人から受領する加盟金については、契約締結時に当該対価を契約負債として計上した後、履行義務の充足に従い一定期間にわたって収益を認識しております。

(5) のれんの償却方法

5年間で均等償却しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

「収益認識に関する会計基準等」の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。これにより、従来、国内フランチャイジーとのフランチャイズ契約に基づく加盟金については一時点で収益を認識しておりましたが、履行義務の充足に従い一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。また、他社が運営するポイントプログラムについて、商品販売時に付与されるポイント相当額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、取引価格から付与ポイント相当額を差し引いた金額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当事業年度の売上高は79百万円減少し、販売費及び一般管理費は396百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ317百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は2,307百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表における流動負債の「その他」の一部について、当事業年度より「契約負債」に含めて表示しております。これにより、当事業年度末においては、流動負債の「その他」が2,006百万円減少しています。

「時価の算定に関する会計基準等」の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、計算書類に与える影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価レベルごとの内訳

等に関する事項等について注記を行うこととしました。

3. 表示方法の変更に関する注記

「収益認識に関する会計基準等」の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当事業年度の期首より適用したことに伴い、前事業年度の貸借対照表において「流動負債」に表示していた「その他」は、当事業年度より「契約負債」及び「その他」に組み替えを行っています。

4. 会計上の見積りに関する注記

(1) 固定資産の減損処理

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

減損損失 872百万円

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りに関する情報

当社グループは、減損の兆候が識別された資産グループについて減損損失の認識を判定し、当該資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回る場合には、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。割引前将来キャッシュ・フローは、各資産グループの売上高、売上原価及び本社費等の過去実績を基礎として、翌期以降の売上成長見込み及び売上原価率変動見込を加味して見積っており、当該見積りにおける重要な仮定は各資産グループにおける翌期以降の売上高成長率及び売上原価率となります。当該重要な仮定については見積りの不確実性が存在するため、キャッシュ・フローの実績が見積金額と乖離する可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症の収束の遅れなどにより資産グループの収益が悪化した場合、翌事業年度において新たに減損の兆候が識別され、減損損失を計上する可能性があります。

(2) 長期繰延営業債権の評価

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

長期繰延営業債権（1年内回収予定のものを含む） 12,326百万円

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りに関する情報

長期繰延営業債権は、一部のフランチャイズ法人に対して、当社への支払ロイヤルティー等の一部について支払期限を延期して回収するものです。

長期繰延営業債権の回収可能価額は、債務者の経営状態、今後の収益及び

資金繰りの見通し等を加味して見積っており、当該見積りにおける重要な仮定は債務者の返済計画に基づく回収見込額であります。当事業年度末においては、当該長期繰延営業債権について全額回収可能と判断したため、貸倒引当金を計上しておりません。

当該重要な仮定については見積りの不確実性が存在するため、債務者の経営状態が想定以上に悪化した場合などに、翌事業年度以降において貸倒引当金が計上される可能性があります。

5. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 69,671百万円
- (2) 関係会社に対する金銭債権及び債務は次のとおりであります。
 - ① 短期金銭債権 6,573百万円
 - ② 短期金銭債務 40,397百万円

6. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高	52,192百万円
営業取引以外の取引高	884百万円

7. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 の株式数（株）	当 事 業 年 度 増加株式数（株）	当 事 業 年 度 減少株式数（株）	当事業年度末 の株式数（株）
普 通 株 式	10,000	-	-	10,000

(2) 剰余金の配当に関する事項

配当金支払額等

2022年9月15日開催の取締役会決議による配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 5,200百万円
- ・ 1株当たり配当金額 520,000円
- ・ 基準日 2022年6月30日
- ・ 効力発生日 2022年9月15日

8. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産	(単位：百万円)
減損損失	2,687
貸倒引当金	246
資産除去債務	962
減価償却費	728
退職給付引当金	497
賞与引当金	958
未払事業税等	464
前受金	694
役員退職慰労引当金	37
未払金	972
退職給付信託	304
長期前払費用	139
繰延収益	1,052
その他	110
繰延税金資産小計	9,855
評価性引当額	△1,048
繰延税金資産計	8,806
繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	△241
その他	△4
繰延税金負債計	△246
繰延税金資産の純額	8,560

9. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に関する取組方針

当社は、資金運用については短期的でリスクの比較的低い金融商品に限定して運用を行っております。また、資金調達につきましては、親会社からの借入を行っております。

② 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金及び長期繰延営業債権は、顧客の信用リスク又は取引先の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、当社のフランチャイジー債権管理規程及び不動産関係債権管理規程等に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な取引先の信用状況を把握する体制をとっております。

営業債務である買掛金及び未払金の支払期日は、そのほとんどが1年以内であります。

短期借入金は、親会社からの資金調達であり、これは主に運転資金に係る資金調達であります。

ファイナンス・リース取引に係るリース債務は、主に、設備投資に必要な資金の調達を目的としたものであり、償還日は決算日後最長6年であります。

③ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格がない場合には合理的に算定された価格が含まれております。当該価格の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件を採用することにより当該価格が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2022年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	33,165	33,165	－
(2) 売掛金	19,997		
貸倒引当金 ※	△11		
	19,986	19,986	－
(3) 関係会社未収入金	6,573	6,573	－
(4) 長期繰延営業債権 (1年内回収予定のものを含む)	12,326	12,326	－
資産計	72,052	72,052	－
(5) 関係会社短期借入金	35,313	35,313	－
(6) 未払金	32,676	32,676	－
負債計	67,990	67,990	－

※ 売掛金に対する貸倒引当金を控除しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

① 資産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金並びに(3) 関係会社未収入金

これらは、短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから当該帳簿価額によっております。

(4) 長期繰延営業債権

回収見込額等に基づいて貸倒見積額を算定しており、時価は決算日における貸借対照表価額と近似しており、当該価額を時価としております。

② 負債

(5) 関係会社短期借入金、並びに(6) 未払金

これらは、短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから当該帳簿価額によっております。

- (3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項
重要性に乏しいため記載を省略しております。

10. 賃貸等不動産に関する注記

(1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社は、千葉県、埼玉県及びその他の地域において、店舗施設等を有しております。

(2) 賃貸等不動産の時価に関する事項

(単位：百万円)

貸借対照表計上額	決算日における時価
32,710	32,710

(注) 1. 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

2. 時価の算定方法

企業会計基準適用指針第23号「賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準の適用指針」第33項に基づき、建物等の償却性資産については適正な帳簿価額をもって時価とみなしております。

11. 収益認識に関する注記

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

当社グループの事業は、ハンバーガーレストラン事業単一であり、顧客との契約から生じる収益の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	当事業年度
直営店舗売上高	237,757
フランチャイズ収入	113,925
顧客との契約から生じる収益	351,683
その他の収益	618
外部顧客への売上高	352,301

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、1. 重要な会計方針に関する事項に関する注記(4) 重要な収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

3. 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

(1) 契約負債の残高等

(単位：百万円)

	当事業年度	
	期首残高	期末残高
契約負債	5,275	5,216

契約負債は、主にフランチャイズ契約締結時にオーナーから前受する加盟金に係る繰延収益、並びにマックカード販売時にお客様から受け取る前受金であります。契約負債は収益の認識に伴い取崩されます。当事業年度に認識した収益のうち、期首時点で契約負債に含まれていた額は、1,453百万円です。過去の期間に充足、または部分的に充足した履行義務から、取引価格の変動等により当事業年度に認識した収益はありません。

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

残存履行義務に配分した取引価格の総額及び収益の認識が見込まれる期間は、以下の通りです。

(単位：百万円)

	当事業年度
1年以内	1,593
1年超2年以内	887
2年超3年以内	645
3年超4年以内	579
4年超5年以内	525
5年超	983
合計	5,216

12. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合（%）	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（百万円）	科目	期末残高（百万円）
親会社	日本マクドナルドホールディングス株式会社	持株会社	被所有 直接 100.0	役員の兼任 不動産の賃借等	不動産の賃借等（注3）	52,125	関係会社 未払金	4,916
					業務受託による収入（注4）	569	関係会社 未収入金	52
					資金の返済（注2、5）	1,444	関係会社 短期借入金	35,313
					利息の支払（注5）	167	未払費用	167
その他の関係会社の親会社	マクドナルド・コーポレーション	ハンバーガーレストランチェーン	被所有 間接 35.33	役員の兼任 ライセンス契約に基づくライセンス許諾	ロイヤルティの支払（注6）	21,527	未払金	11,267

- （注） 1. 上記のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
2. 短期の資金貸借取引であるため、純額で計上しております。
3. 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。
4. 業務受託収入は業務内容を勘案して決定しております。
5. 日本マクドナルドホールディングス株式会社からの借入金の金利につきましては、市場金利を参考にした利率としております。
6. 当社はマクドナルド・コーポレーションとライセンス契約を締結しており、その契約に基づきシステムワイドセールス（直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高）の3.0%をロイヤルティとして支払っております。

上記以外に、当社が発行するマックカードについて、日本マクドナルドホールディングス株式会社が発行保証金（2,000百万円）を供託しております。

13. 1株当たり情報に関する注記

- | | |
|----------------|---------------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 6,764,781円17銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 2,092,850円43銭 |